



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年2月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 澁谷工業株式会社

コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日

平成27年3月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	36,538	14.2	1,174	△13.0	1,366	△20.0	876	△10.1
26年6月期第2四半期	32,005	△2.2	1,350	93.6	1,707	135.7	974	537.6

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 1,169百万円 (31.4%) 26年6月期第2四半期 889百万円 (113.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	31.67	—
26年6月期第2四半期	35.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年6月期第2四半期	89,902		35,102	39.0			1,267.97	
26年6月期	93,386		32,408	34.7			1,170.98	

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 35,084百万円 26年6月期 32,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	5.00	—	10.00	15.00
27年6月期	—	10.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	2.4	4,250	△14.8	4,500	△15.7	3,100	△4.4	112.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	28,149,877 株	26年6月期	28,149,877 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	480,143 株	26年6月期	479,928 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	27,669,815 株	26年6月期2Q	27,670,522 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
4. その他 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策による円安・株高を背景に企業収益が改善するなか、消費税増税の影響があったものの、設備投資の増加や雇用環境の改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は365億38百万円（前年同期比14.2%増）と増収となったものの、積極的な設備投資による減価償却費の増加や再生医療分野への先行投資負担などによる固定費増加により、営業利益は11億74百万円（前年同期比13.0%減）、経常利益は13億66百万円（前年同期比20.0%減）となりました。また、特別損益として、連結子会社であるシブヤ精機(株)高岡工場の土地建物の一部収用に伴う移転補償金1億3百万円を特別利益に計上したものの、当社の賃貸資産の売却に先行して実施した減損損失2億7百万円を特別損失に計上した結果、四半期純利益は8億76百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業の売上高は、酒類用プラントは、前年同期に比べ横ばいとなりました。食品用プラントは、主たる分野である飲料向けが減少したものの、飲料以外向けがほぼ倍増し、前年同期に比べ増加しました。薬品・化粧品用プラントは、医薬品メーカー向け製薬設備が増加し、前年同期に比べ大幅増となりました。

その結果、連結売上高は227億83百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益は25億17百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

## (メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造装置は、中国、韓国でのLEDやスマートフォン関連の設備投資が継続しており、前年同期に比べ大幅増となりました。医療機器は、受注増加に伴う生産体制の見直しによる一部製品の納入に遅れが生じた結果、前年同期に比べ減少しました。切断加工機は、前年同期に比べ、ほぼ横ばいとなりました。

その結果、連結売上高は101億50百万円（前年同期比37.6%増）、営業損失は4億77百万円（前年同期は営業損失8億85百万円）となりました。

## (農業用設備事業)

農業用設備事業の売上高は、落葉果樹向け選果選別プラントが増加したものの、柑橘類および野菜・果菜類向け選果選別プラントが減少したことにより、前年同期に比べ減少しました。

その結果、連結売上高は34億44百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益は1億28百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ34億84百万円減少し、899億2百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末に比べ12億99百万円減少し、137億69百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べ26億94百万円増加し351億2百万円となり、自己資本比率は39.0%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、23億28百万円の資金増加（前年同期は12億94百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が13億48百万円となり、たな卸資産の増加額33億21百万円、未払金及び未払費用の減少額17億84百万円ならびに法人税等の支払額15億82百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費10億49百万円や売上債権の減少額44億31百万円、前受金の増加額8億74百万円ならびに仕入債務の増加額9億28百万円による資金増加があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、26億93百万円の資金減少（前年同期は4億47百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が30億85百万円あったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億41百万円の資金減少（前年同期は5億52百万円の資金増加）となりました。これは主に、借入金を返済したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より18億63百万円減少し113億14百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年8月7日に公表した連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	85,000	5,480	5,450	3,700	133円72銭
今回修正予想 (B)	81,000	4,250	4,500	3,100	112円04銭
増減額 (B - A)	△4,000	△1,230	△950	△600	—
増減率 (%)	△4.7	△22.4	△17.4	△16.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年6月期)	79,093	4,991	5,336	3,243	117円20銭

売上高については、パッケージングプラント事業において受注予定の大型引合い案件の延期が生じたこと、メカトロシステム事業において医療機器における生産体制の見直しによる納入遅れが尾を引くこと、また農業用設備事業において環太平洋戦略的経済連携協定 (TPP) の交渉の不透明感から設備投資への積極的な動きがみられないことから、前回予想に比べ4.7%減少の81,000百万円に修正しております。

利益面については、下期における農業用設備事業の収益が悪化するとともに、売上高の減少に伴い固定費負担が高まることから、営業利益は4,250百万円、経常利益は4,500百万円、当期純利益は3,100百万円と前回予想に比べ、それぞれ22.4%、17.4%、16.2%減少するものと見込んでおります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2,711百万円減少し、利益剰余金が1,802百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,370	11,509
受取手形及び売掛金	30,182	25,842
製品	175	222
仕掛品	6,560	9,519
原材料及び貯蔵品	1,796	2,152
繰延税金資産	753	598
その他	1,915	2,018
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	54,739	51,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,134	14,178
機械装置及び運搬具(純額)	1,823	2,248
土地	11,831	11,669
建設仮勘定	415	363
その他(純額)	955	1,227
有形固定資産合計	29,161	29,687
無形固定資産		
のれん	1,587	1,443
その他	231	219
無形固定資産合計	1,818	1,663
投資その他の資産		
投資有価証券	3,626	3,548
長期貸付金	14	15
繰延税金資産	3,373	2,472
その他	698	709
貸倒引当金	△44	△42
投資その他の資産合計	7,667	6,704
固定資産合計	38,647	38,055
資産合計	93,386	89,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,300	20,271
短期借入金	5,335	5,244
未払法人税等	1,693	424
未払費用	4,768	2,951
賞与引当金	296	316
受注損失引当金	57	155
製品保証引当金	119	110
その他	5,864	5,746
流動負債合計	37,435	35,222
固定負債		
長期借入金	9,733	8,525
退職給付に係る負債	13,062	10,340
役員退職慰労引当金	321	284
繰延税金負債	184	188
その他	240	238
固定負債合計	23,543	19,577
負債合計	60,978	54,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	10,358
利益剰余金	12,196	14,598
自己株式	△431	△432
株主資本合計	33,515	35,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	150
繰延ヘッジ損益	△7	—
為替換算調整勘定	△6	60
退職給付に係る調整累計額	△1,123	△1,043
その他の包括利益累計額合計	△1,114	△832
少数株主持分	7	18
純資産合計	32,408	35,102
負債純資産合計	93,386	89,902

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	32,005	36,538
売上原価	26,074	30,557
売上総利益	5,930	5,981
販売費及び一般管理費	4,580	4,806
営業利益	1,350	1,174
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	30	32
投資有価証券売却益	281	102
持分法による投資利益	2	2
固定資産賃貸料	37	35
為替差益	58	96
その他	96	82
営業外収益合計	512	357
営業外費用		
支払利息	84	83
手形売却損	3	3
投資有価証券売却損	21	—
租税公課	8	41
その他	37	37
営業外費用合計	155	165
経常利益	1,707	1,366
特別利益		
固定資産売却益	18	7
投資有価証券売却益	387	5
国庫補助金	—	77
移転補償金	—	103
その他	20	—
特別利益合計	426	194
特別損失		
固定資産処分損	13	2
減損損失	326	207
その他	3	1
特別損失合計	343	212
税金等調整前四半期純利益	1,789	1,348
法人税、住民税及び事業税	786	421
法人税等調整額	27	42
法人税等合計	814	463
少数株主損益調整前四半期純利益	975	884
少数株主利益	0	8
四半期純利益	974	876



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	975	884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	126
繰延ヘッジ損益	35	7
為替換算調整勘定	13	69
退職給付に係る調整額	—	80
その他の包括利益合計	△85	284
四半期包括利益	889	1,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	889	1,158
少数株主に係る四半期包括利益	0	10

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,789	1,348
減価償却費	808	1,049
のれん償却額	153	147
減損損失	326	207
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	224	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	113
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	△37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	20
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	36	98
受取利息及び受取配当金	△36	△38
支払利息	84	83
持分法による投資損益 (△は益)	△2	△2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△647	△107
売上債権の増減額 (△は増加)	4,437	4,431
前受金の増減額 (△は減少)	2,387	874
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,378	△3,321
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,249	928
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,039	△280
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,959	△1,784
未払又は未収消費税等の増減額	△542	△176
その他	250	406
小計	3,107	3,957
利息及び配当金の受取額	33	34
利息の支払額	△88	△80
法人税等の支払額	△1,758	△1,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,294	2,328
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△231	△155
定期預金の払戻による収入	228	153
投資有価証券の取得による支出	△1,453	△486
投資有価証券の売却による収入	1,823	865
有形固定資産の取得による支出	△907	△3,085
有形固定資産の売却による収入	20	12
無形固定資産の取得による支出	△27	△35
子会社株式の取得による支出	△0	△3
補助金の受取額	114	77
その他	△13	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△447	△2,693

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,290	3,799
短期借入金の返済による支出	△4,876	△4,040
長期借入れによる収入	2,600	—
長期借入金の返済による支出	△1,282	△1,115
社債の償還による支出	△30	—
自己株式の増減額 (△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△138	△276
その他	△8	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	552	△1,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,466	△1,863
現金及び現金同等物の期首残高	11,018	13,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,485	11,314

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間の期首より、退職給付債務および勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、期首の利益剰余金の額が1,802百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,494	7,378	3,993	31,866	138	32,005	—	32,005
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	228	164	666	109	775	△775	—
計	20,768	7,607	4,158	32,533	248	32,781	△775	32,005
セグメント利益又は損 失(△)	2,944	△885	190	2,249	△24	2,224	△874	1,350

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業および環境事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△874百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円および棚卸資産等の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「パッケージングプラント事業」において、工場の閉鎖および売却を機関決定した資産について帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額326百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,783	10,150	3,444	36,378	160	36,538	—	36,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	191	174	391	758	158	916	△916	—
計	22,975	10,324	3,835	37,136	318	37,455	△916	36,538
セグメント利益又は損 失(△)	2,517	△477	128	2,167	△18	2,149	△974	1,174

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△974百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△975百万円および棚卸資産等の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

## 4. その他

## 受注の状況

## ① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	22,680	26,289	+15.9
(酒類用プラント)	( 739 )	( 2,009 )	( +171.8 )
(食品用プラント)	( 17,326 )	( 17,914 )	( +3.4 )
(薬品・化粧品用プラント)	( 4,060 )	( 5,655 )	( +39.3 )
(その他)	( 553 )	( 709 )	( +28.1 )
メカトロシステム事業	7,929	11,864	+49.6
農業用設備事業	2,971	2,892	△2.6
その他の事業	91	149	+64.0
合 計	33,672	41,195	+22.3

## ② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)	前年同期比
			%
パッケージングプラント事業	32,847	30,528	△7.1
(酒類用プラント)	( 687 )	( 1,760 )	( +155.9 )
(食品用プラント)	( 23,628 )	( 19,539 )	( △17.3 )
(薬品・化粧品用プラント)	( 7,942 )	( 8,700 )	( +9.5 )
(その他)	( 588 )	( 527 )	( △10.3 )
メカトロシステム事業	4,176	10,808	+158.8
農業用設備事業	3,004	2,109	△29.8
その他の事業	325	74	△77.1
合 計	40,353	43,521	+7.8